

想い

軌跡

「鴻巣市」…なら『鴻』でしょ！ ～自然を再生・活用し元気で誇りある地域を未来へ～



取組のシンボル
コウノトリ

湿地づくりは地味な作業の連続。でも生きものたちのため、将来世代のため頑張ってます！



湿地づくりを認めてくれるかのようにオオハクチョウの家族が初飛来。来年も待ってるよ！

【主な活動実績】

- 平成19年 任意団体として発足(平成24年 NPO法人取得)
- 平成21～22年 コウノトリ飼育放鳥の署名活動、「コウノトリ講演会」主催
- 平成23年 湿地ビオトープ第1号整備(平成26年・第2号整備)

〔参考URL〕 <http://blogs.yahoo.co.jp/imokounotori>

NPO法人 鴻巣ここのとりを育む会

代表理事 伊藤 鑄義

「鴻巣市にコウノトリを再び舞わせたい！」

まちづくり会議の休憩時、トイレでふと漏らした一言に「やろう！」と仲間が集まり、取組が動き出した。

まずは仲間をふやそう！

コウノトリをわがまちに取り戻そう、と署名活動を実施。人口12万のわがまちで2万5千人の署名を集めた。

兵庫県豊岡市の中貝市長による講演会も主催。約800人の参加を得て、コウノトリも暮らせるまちづくりの先進的な取組みを知り、がぜん取組に火がついた！GO！GO！育む会。

「湿地ビオトープ」と「生きもの育む田んぼ」

地権者の協力により河川敷に湿地を再生。専門家や農家等と協働でコウノトリの採餌環境をつくった。多くの生きものを育み、人にも安全・安心な田んぼプロジェクトも始動。作ったお米のPRで展示会に出陣！食育ともつなげちゃえ！

市内外とのつながりと交流

地域だけでなく先進地や同じ目的をもつ団体とのつながり・交流にも力を入れてきた。地域での行きづまった悩みも様々な「人」とのつながりと、明確な目標があったからこそ、乗り越えられた。

次はコウノトリだ！！

湿地再生、環境にやさしい田んぼづくり、様々なイベント・広報活動…。仲間は広がり、水辺には「水ガキ」(子ども)や、かつて水ガキだった大人たちを含めた多くの“生きもの”が帰ってきた。

今年はオオハクチョウも飛来！とくれば…。



河川敷に湿地を再生



「堤内地の湿地」＝「田んぼ」を生きもの育む空間に。農家や有機稲作の専門家等と連携で！



育む会の面々